

令和5年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・ICT活用が活発になり、児童同士が自分やグループの友達の動きを確認したり、手本となる動画を見ながら、よい動きを見たりしながら運動することができた。
- ・学年ごとの技能習得目標を全校共通で示したこと（器械運動）で、学年に応じためあてを設定できるようになった。

(2) 課題

- ・持久力、敏捷性等の全学年の共通課題、「体力低下」に対する具体的な指導の改善。
- ・各学年で目標とする技能の習得。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・持久力、敏捷性を高めるために、校内共通資料から運動を選択し、ストレッチを取り入れる。 ・主運動につながる補強運動や遊びでは、基礎的な能力を向上させる運動を考え、取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで取り組む運動を通して、動きや態度のよいところを友達と伝え合い、共有できるようにする。 ・場の設定を工夫し、児童が各自の課題に合わせて、自ら場や技を選ぶようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に運動に取り組めるようにするために、学年に応じたルールを工夫したり、決まりを徹底して守らせたりする。 ・チームの合言葉を決めたり、チームワーク賞を作ったりして、仲間と共に運動する意欲をもたせる。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・持久力、敏捷性を高めるために、校内共通資料から運動を選択し、ストレッチを取り入れる。 ・技能や習得技の学年の到達目標を明確にし、運動のめあてを立てやすくする。 ・基本的な技能習得のための時間配分を考えながら、学習過程を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チームで取り組むゲーム運動や教え合う活動を積極的に取り入れ、作戦を話し合ったり、動きのポイントを教え合ったりしながら学習を進められるようにする。 ・学習用タブレットを活用し、お互いの技を見合ったりよい動きを共有したりする教え合う場を設定する。 ・学習カードを活用して、めあてに沿った振り返りを書かせ、技能習得のための工夫を自ら考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に運動に取り組めるようにするために、学年に応じたルールを工夫したり、決まりを徹底して守らせたりする。 ・習得したい技能に応じて、各自でめあてをもたせたり、チームで相談してめあてを設定させたりして、仲間と共に意欲的に、粘り強く運動に取り組めるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・持久力、敏捷性を高めるために、校内共通資料から運動を選択し、ストレッチを取り入れる。・技能や習得技の学年の到達目標を明確にし、運動のめあてを立てやすくする。・これまでの経験を活かしながら、運動の特性に応じた学習過程を工夫したり時間配分を考えたりして、技能習得につなげる。	<ul style="list-style-type: none">・学習用タブレットを活用し、お互いの技を見合ったりよい動きを共有したりする教え合う場を設定する。・学習カードを活用し、振り返りだけでなく、次時のめあても記入して、技能習得のための学習過程を自ら考えられるようにする。	<ul style="list-style-type: none">・安全に運動に取り組めるようにするために、学年に応じたルールを工夫したり、決まりを徹底して守らせたりする。・作戦会議や教え合う活動では、自分の考えを発信するだけでなく、相手の意見を認める気持ちを育て、ともに粘り強く技能向上を目指せるような態度を育てる。